

## (1) 令和6年度実績について

## 1 委託事業

## (1) 支援拠点機関の設置（平成20年4月1日付け指定）

松山リハビリテーション病院を支援拠点機関に指定し、高次脳機能障害者への相談指・支援、医療機関等への情報提供、研修会の実施等を行った。

なお、支援拠点機関の設置及び運営は、県の委託事業として実施した。

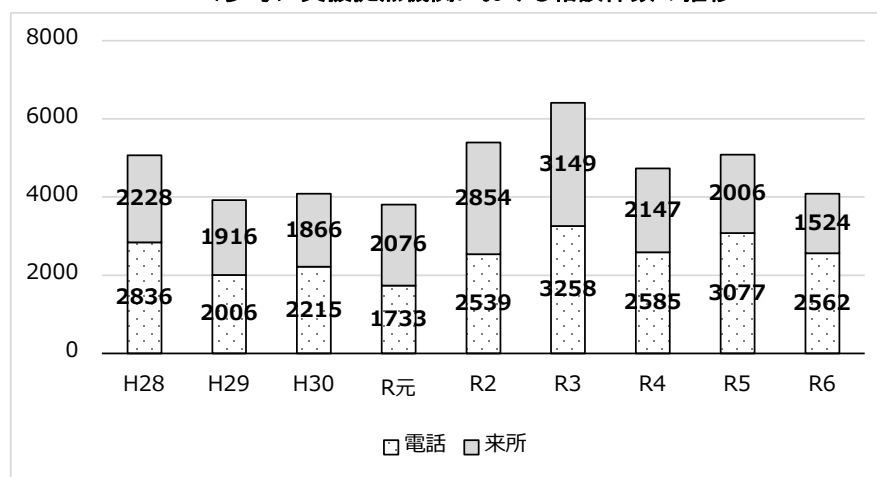
## ○支援拠点機関の主な役割

- ・高次脳機能障害の確定診断
- ・相談指導
- ・リハビリ症例検討
- ・医療機関への情報提供・連携強化
- ・全国連絡協議会等への参加
- ・講習会の開催

## ○令和6年度相談支援実績（R6.4.1～7.3.31）

名称	相談件数（延べ）		リハ訓練数 （実人数）	訪問 件数	（参考）R5相談件数（延べ）		（参考）R5 リハ訓練数 （実人数）	（参考） R5 訪問 件数
	来所・来院	電話			来所・来院	電話		
松山リハビリテーション病院	1,524	2,562	122	131	2,006	3,077	112	110

## ＜参考＞支援拠点機関における相談件数の推移



## (2) 相談支援コーディネーターの配置（平成20年4月1日付け配置）

支援拠点機関に、相談支援コーディネーターとして木戸保秀医師・菅隆一作業療法士・坂本和香奈医療ソーシャルワーカー・恵美孝彦医療ソーシャルワーカーを配置し、相談支援、医療、福祉サービスの情報提供、関係機関等に対する助言・指導を行った。

なお、相談支援コーディネーターの配置は、県の委託事業として実施した。

## ○相談支援コーディネーターの主な任務

- ・市町等への指導
- ・相談指導
- ・高次脳機能障害者への訓練・支援プログラムの作成
- ・全国連絡協議会等への参加

(3) 拠点機関主催の研修会等

延べ 291人参加

■愛媛県高次脳機能障害支援拠点機関講習会

- ・主催 支援拠点機関（松山リハビリテーション病院）
- ・開催年月日 令和6年6月1日（土）14：00～
- ・開催場所 テクノプラザ愛媛 テクノホール
- ・参加者 当事者、家族、保健・医療・福祉関係者等 119名
- ・内容
  - 活動報告  
愛媛高次脳機能障がい者を支援する会「あい」 玉置 孝美 氏  
松山リハビリテーション病院 高次脳機能障害支援室 菅 隆一 氏
  - 特別講演  
「高次脳機能障害の当事者・ご家族・支援者が共に地域で生きていくために」  
枋内第二病院 リハビリテーション部副部長  
公認心理師 山館 圭子 先生
  - 質疑応答

■愛媛高次脳機能障害リハビリテーション講習会

- ・主催 支援拠点機関（松山リハビリテーション病院）  
愛媛高次脳機能障がい者を支援する会「あい」
- ・開催年月日 令和6年10月12日（土）14：00～16:20
- ・開催場所 テクノプラザ愛媛 テクノホール
- ・参加者 当事者、家族、保健・医療・福祉関係者等 120名
- ・内容
  - 特別講演  
「神経発達障害（発達障害）と高次脳機能障害～似ている点、異なる点～」  
総合リハビリテーション 伊予病院 院長 藤田 正明 先生
  - 質疑応答
  - 当事者体験発表  
「高次脳機能障害で得たもの」  
愛媛高次脳機能障がい者を支援する会「あい」 石田 幸政 氏

■臨床高次脳機能研究会えひめ

- ・主催 支援拠点機関（松山リハビリテーション病院）
- ・開催年月日 令和7年2月8日（土）14：30～17：15
- ・開催場所 テクノプラザ愛媛 テクノホール
- ・参加者 当事者、家族、保健・医療・福祉関係者等 52名
- ・内容
  - 演題発表  
「高次脳機能障害を呈した独居高齢者が入院早期からの多職種連携によるアプローチと段階的な外出訓練によって自宅退院に至った例」  
松山リハビリテーション病院 作業療法士 加藤 真弘 氏
  - 特別講演  
座長：愛媛大学大学院医学系研究科 脳神経外科学 國枝 武治 先生  
「脳損傷後に生じる情動関連症状を紐解く」  
京都光華女子大学 看護福祉リハビリテーション学部  
福祉リハビリテーション学科 言語学専攻 教授 上田 敬太 先生

(4) 相談支援協力機関の設置（平成21年2月6日付け指定）

県保健所の圏域単位に相談支援協力機関を設置し、高次脳機能障害者及び家族に対する相談支援及び地域支援ネットワークの構築を図った。

なお、相談支援協力機関の設置及び運営については、県の委託事業として実施した。

○設置数 6 機関

- ・（宇摩圏域）H I T O病院
- ・（今治圏域）片木脳神経外科
- ・（八幡浜・大洲圏域）大洲中央病院
- ・（新居浜・西条圏域）済生会西条病院
- ・（松山圏域）伊予病院
- ・（宇和島圏域）宇和島徳洲会病院

○相談支援協力機関の主な役割

- ・相談指導
- ・関係機関への情報提供・助言

○令和6年度相談支援実績（R6.4.1～7.3.31）

名 称	相談件数（延べ）		リハ訓練数 （実人数）	（参考）R5相談件数（延べ）		（参考）R5 リハ訓練数 （実人数）
	来所・来院	電話		来所・来院	電話	
H I T O病院	11	1	10	13	2	12
済生会西条病院	1	0	7	1	2	8
片木脳神経外科	4	0	1	2	2	1
伊予病院	17	6	25	25	5	29
大洲中央病院	2	4	15	2	5	13
宇和島徳洲会病院	0	5	8			
計	35	16	66	43	16	63

2 県実施事業

(1) 高次脳機能障害支援連絡協議会

○会長：木戸 保秀（松山リハビリテーション病院理事長・院長）

委員 19名

- ・支援拠点機関
- ・相談支援協力機関（6機関）
- ・関係機関・団体（家族会「あい」、福祉サービス事業者、障害者職業センター  
社会福祉士、理学療法士、作業療法士、臨床心理士、言語聴覚士）
- ・精神科医師（愛媛大学医学部）
- ・リハビリテーション科医師（県医師会）
- ・行政関係者（心と体の健康センター、保健所、松山市）

協議会：令和6年10月23日（水）18時30分～20時00分

(2) 四国ブロック会議（愛媛県）

- ・書面開催
- ・協議事項 各県における高次脳機能支援に関する課題等

(3) 普及啓発事業

○各保健所主催の研修会、連絡会等（別紙参照）

保健所名	開催日	参加者数	
四国中央保健所	R6. 6. 24～7. 3		普及啓発用資料の展示及び配布
	R6. 9. 20～9. 30		普及啓発用資料の展示及び配布
	随時		本人からの来所相談対応
西条保健所	R6. 7. 30	13	高次脳機能障害支援者連絡会
	R6. 11. 22	39	高次脳機能障害支援者研修会
	随時		個別支援、あいの会総会・定例会参加、各種研修会・担当者会参加
今治保健所	R6. 8. 7	30	支援担当者会
	R6. 10. 15	3	高次脳機能障害者及び家族交流会（今年度事業打合せ）
	R6. 10. 22	13	高次脳機能障害者及び家族交流会
	R7. 2. 10	15	
中予保健所	R7. 2. 26	23	担当者研修会
	R6. 7. 5	20	支援者連絡会
	通年	397	普及啓発
	随時		退院時連絡票及びフロチャートの修正・周知
	随時		各種研修会・会議参加、個別ケース支援、あいの会総会・定例会参加等
八幡浜保健所	R6. 12. 12	26	高次脳機能障害支援研修会
	随時		個別支援、普及啓発、各種会議・研修会等への参加
宇和島保健所	R6. 9. 10	28	支援関係者連絡会
	R6. 12. 23	16	支援関係者研修会
	R6. 11. 14	30	高次脳機能障害研修会 （主催：南予地域就労支援ネットワーク連絡会）
	R7. 1月	49機関	普及啓発
	随時		個別相談（来所、電話、訪問）、ケア会議、各種研修会、担当者会への参加、普及啓発

(4) 患者訪問相談

保健所保健師等による相談・訪問の実施

○令和6年度相談支援実績

所属	来所相談		電話相談		訪問指導		ケア会議	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
四国中央保健所	1	1						
西条保健所			1	1				
今治保健所			9	19	2	2	1	1
中予保健所			3	30	1	2		
八幡浜保健所			1	3				
宇和島保健所	1	2	12	279	12	21	3	3
合計	2	3	26	332	15	25	4	4

(2) 令和7年度計画及び進捗状況について

1 委託事業

(1) 支援拠点機関の設置 【継続実施】

(2) 相談支援コーディネーターの配置 【継続実施】

○令和7年度相談支援実績 (R7.4.1～R7.9.30)

名称	相談件数 (延べ)		リハ訓練数 (実人数)	訪問 件数
	来所・来院	電話		
松山リハビリテーション病院	895	1,112	52	69

(3) 拠点機関主催の研修会等

■高次脳機能障害支援者養成研修

- ・実施機関 支援拠点機関 (松山リハビリテーション病院)
- ・目的 高次脳機能障害についての知識を得ることやその障害特性を理解することで、高次脳機能障害の障害特性に応じた支援を実施できる、障害福祉サービス事業所等に従事する支援者を養成することを目的とする。
- ・対象者 愛媛県内の障害福祉サービス事業所、相談支援事業所等職員
- ・日時、研修方法
  - (1) 基礎研修
    - 【基礎講義】
      - ・日時：令和7年6月23日 (月) 9:30～16:30
      - ・研修方法：オンラインでの講義
    - 【基礎演習】
      - ・日時：令和7年6月24日 (火) 9:30～17:15
      - ・研修方法：オンラインでの講義、グループワーク
  - (2) 実践研修
    - 【実践講義】
      - ・日時：令和7年7月7日 (月) 9:30～17:05
      - ・研修方法：オンラインでの講義
      - ・受講資格：基礎研修を修了した者。
    - 【実践演習】
      - ・期日：令和7年7月8日 (火) 9:30～17:45
      - ・研修方法：集合形式での講義、グループワーク
      - ・会場：テクノプラザ愛媛
      - ・受講資格：基礎研修を修了している者かつ、実践講義を受講したと実施機関が認定した者。
- ・内容 国要綱で規定されているカリキュラムに準ずる内容

## ■高次脳機能障害支援拠点機関講習会

- ・主催 支援拠点機関（松山リハビリテーション病院）
- ・開催年月日 令和7年7月19日（土）14：00～16：00
- ・開催場所 テクノプラザ愛媛 テクノホール
- ・参加者 当事者、家族、保健・医療・福祉関係者、一般市民等 名
- ・内容 ●活動報告  
松山リハビリテーション病院 高次脳機能障害支援室 菅 隆一 氏  
愛媛高次脳機能障がい者を支援する会「あい」 石田 幸政 氏  
●特別講演  
「高次脳機能障害の理解と支援」  
東北医科薬科大学病院高次脳機能障害支援センター センター長  
山形県高次脳機能障がい者支援センター 顧問  
鈴木 匡子 先生

## ■愛媛高次脳機能障害リハビリテーション講習会 【開催予定】

- ・主催 支援拠点機関（松山リハビリテーション病院）  
愛媛高次脳機能障がい者を支援する会「あい」
- ・開催年月日 令和7年12月20日（土） 13:30～16:15
- ・開催場所 松山市医師会館 いきいきホール
- ・参加者 当事者、家族、保健・医療・福祉関係者等
- ・内容 ●特別講演  
「高次脳機能障害 当事者・家族への心理的サポート」  
公認心理師・臨床心理士 山口 加代子 先生  
●当事者体験発表  
「可能性は無限大」～16歳で脳出血を起こした僕の挑戦～  
当事者：佐川 陸 氏  
「止まった人生の針が再び動き出すとき」～陸と歩む挑戦と気付き～  
当事者家族：佐川 暁子 氏

## ■臨床高次脳機能研究会えひめ 【開催予定】

- ・主催 支援拠点機関（松山リハビリテーション病院）
- ・開催年月日 令和8年1月17日（土）午後
- ・開催形態 テクノプラザ愛媛 テクノホール
- ・参加者 当事者、家族、保健・医療・福祉関係者、一般市民等
- ・内容 ●特別講演  
講師：帝京大学 医学部 脳神経内科  
教授 小林 俊輔 先生

- (4) 相談支援協力機関の設置 **【継続実施】**  
 令和5年度末に市立宇和島病院の指定を解除し、令和6年度から宇和島徳洲会病院を指定

○令和7年度相談支援実績 (R7. 4. 1～7. 9. 30)

所属	来所・来院	電話相談	リハビリ訓練
	延人数	延人数	実人数
H I T O病院	3	0	3
済生会西条病院	0	0	0
片木脳神経外科	2	0	0
伊予病院	1	1	17
大洲中央病院	3	3	9
宇和島徳洲会病院	5	5	5
合計	14	9	34

## 2 県実施事業

- (1) 高次脳機能障害支援連絡協議会の設置・開催 **【継続実施】**  
 令和7年度愛媛県高次脳機能障害支援連絡協議会  
 日 時：令和7年11月20日（木）18：30～20：00  
 場 所：愛媛県庁第一別館11階会議室  
 議題 (1) 高次脳機能障害支援普及事業の実施状況について  
 (2) 各機関の活動状況報告  
 (3) 意見交換 等
- (2) 四国ブロック会議（高知県・書面開催） **【継続実施】**  
 ・協議事項 各県における高次脳機能支援に関する課題等
- (3) 普及啓発事業 **【継続実施】**  
 ○各保健所主催の研修会、連絡会、ワーキング会議等  
 別紙のとおり
- (4) 患者訪問相談 **【継続実施】**  
 保健所保健師等による相談・訪問の実施

令和6年度高次脳機能障害支援普及事業実績報告

資料2

所属	日付	場所	会の名称	内容	参加人数
四国中央保健所	R6. 6. 24～ 7. 3	四国中央市役所市民交流棟1階ロビー	パネル展	普及啓発用資料の展示及び配布	-
	R6. 9. 20～ 9. 30	四国中央市役所市民交流棟1階ロビー	パネル展	普及啓発用資料の展示及び配布	-
	随時	-	-	本人からの来所相談対応	
西条保健所	R6. 7. 30	東予地方局 (Web開催)	高次脳機能障害支援者 連絡会	(1) 事業説明 (2) 活動報告 (3) 情報共有及び意見交換	13名
	R6. 11. 22	東予地方局 (Web開催)	高次脳機能障害支援者 研修会	講義 「高次脳機能障害の症状と関わり方 ー基本的な対応法を知ろうー」 「高次脳機能障害のある方を地域で支える～事例で学ぶ支援 のポイント～」 講師：松山リハビリテーション病院 高次脳機能障害支援室 作業療法士 菅隆一氏 社会福祉士 坂本和香奈氏 社会福祉士 恵美孝彦氏	39名
	随時			・個別相談 ・あいの会総会、定例会参加 ・各種研修会、担当者会参加	
今治保健所	R6. 8. 7	今治支局	支援担当者会	○話題提供 「高次脳機能障害者の支援に関するアンケート結果について」 ・今治保健所 「今治管内における高次脳機能障害者の支援について」 ・片木脳神経外科 ・今治市障がい者生活支援センター ・社会福祉法人Sign ○質疑応答、意見交換	30名
	R6. 10. 15			今年度事業打合せ	3名
	R6. 10. 22	今治市総合福祉センター	高次脳機能障害者及び 家族交流会	・座談会 ・調理 ・情報交換	13名
	R7. 2. 10			・座談会 ・調理 ・情報交換	15名

中予保健所	R7. 2. 26	中予地方局 6階 第2会議室	担当者研修会	事務局報告「普及啓発媒体の活用について」 講話「リハビリ専門職における高次脳機能障害の支援と課題」 ～理学療法士・作業療法士・言語聴覚士から～ 講師：〔理学療法士〕伊予病院 奥本 充 氏 〔作業療法士〕松山リハビリテーション病院 清水 勇志 氏 〔言語聴覚士〕松山リハビリテーション病院 兵頭 直樹 氏 事例報告～地域での支援の実情を知る～ 報告者：特定非営利活動法人 まこと 助言者：講師、支援拠点機関担当者、相談支援協力機関担当者	23名
	R6. 7. 5	中予地方局 6階 第2会議室	支援者連絡会	事務局説明「高次脳機能障害支援普及事業の概要及び普及啓発活動状況について」 活動報告（松山リハビリテーション病院、伊予病院、あい） 意見交換	20名
	通年	松山圏域	普及啓発	・H24年度担当者作成の媒体（1種類）及びR5保健所作成（2種類）の資料を用い、市町の協力を得て既存の研修会や会議等を活用して普及啓発活動を実施 ・普及啓発媒体の見直し （支援者連絡会での意見交換を基に見直しを行い、音声入力による動画を作成、ホームページに掲載）	397名
	随時	-	退院時連絡票	・退院時連絡票及びフローチャートの修正を行い、関係機関に対し活用についての周知を図った。 ・退院時連絡票による連絡、相談なし	
	随時	-	-	・各種研修会、会議に参加 ・愛媛県高次脳機能障害者支援連絡協議会へ参加 ・愛媛高次脳機能障がい者を支援する会「あい」総会、定例会へ参加 ・個別ケース支援	
八幡浜保健所	R6. 12. 12	八幡浜保健所	高次脳機能障害支援研修会	・活動報告 ・講話 「高次脳機能障害を理解する ～基礎知識と対応～」 講師 松山リハビリテーション病院 高次脳機能障害支援室 坂本 和香奈、恵美 孝彦	26名
	随時	-	-	・個別支援 ・普及啓発 ・各種会議、研修会等への参加	-
宇和島保健所	R6. 9. 10	南予地方局	高次脳機能障害支援関係者連絡会	・各機関の取り組み報告 ・意見交換	28名
	R6. 12. 23	南予地方局	高次脳機能障害支援関係者研修会	○講演「高次脳機能障害の症状理解とアセスメント」 講師 松山リハビリテーション病院 高次脳機能障害支援室 相談支援コーディネーター 坂本 和香奈 相談支援コーディネーター 恵美 孝彦  ○グループワーク 「事例を通して高次脳機能障害の支援について考えよう」	16名
	R6. 11. 14	南予地方局	高次脳機能障害研修会 ※主催：南予地域就労支援ネットワーク連絡会（保健所協力）	○講演「高次脳機能障害の基礎知識」 講師 松山リハビリテーション病院 高次脳機能障害支援室 相談支援コーディネーター 坂本 和香奈  ○グループトーク 「地域の困った！について話そう」	30名
	R7. 1月	-	普及啓発	R6年度より、管内の相談支援協力機関が変更したことに伴い、高次脳機能障害くらしのガイドブックを再発行及び支援関係機関に配布	(対象) 49機関
	随時	-	-	・個別相談（来所、電話、訪問） ・ケア会議 ・各種研修会、担当者会への参加 ・普及啓発	-

## 令和7年度高次脳機能障害支援普及事業計画

所属	開催日	場所	会の名称	内容	参加人数
四国中央保健所	R7.6.10～ 6.20	四国中央市役所市民交流1階ロビー	普及啓発 (パネル展示)	普及啓発用資料の展示及び配布	—
	R7.9.22～ 10.3	四国中央市役所市民交流1階ロビー	普及啓発 (パネル展示)	普及啓発用資料の展示及び配布	—
	随時	—	—	・個別相談及び家庭訪問 ・担当者会、研修会の出席等	—
西条保健所	R7.11.18	Web開催	高次脳機能障害支援者研修会	・講義「高次脳機能障害の特性の理解と歩みを支える関わり方～就労・復職支援の事例を通して支援の在り方を考える～」	29名
	随時	—	—	・個別相談（来所、電話、訪問による相談） ・あいの会総会、定例会参加 ・各種研修会、担当者会参加	—
今治保健所	R7.6.25	今治支局	高次脳機能障害支援者研修会	○話題提供 「高次脳機能障害支援普及事業について」 ・今治保健所 「医療からつなぐ高次脳機能障害者支援」 ・松山リハビリテーション病院 ・片木脳神経外科 ○意見交換、質疑応答	42
	R7.10.30	今治市総合福祉センター	当事者交流会	・座談会 ・調理	18
	R8.2.17			・座談会 ・レクリエーション	未定
	R7冬頃	未定	勉強会または座談会	・事業所を対象に支援拠点機関や相談協力機関と協議の上、開催予定	未定
	随時	—	個別支援及び関係機関連絡等	・個別相談 ・ケア会議 ・担当者会及び研修会への出席等	—
	通年	—	普及啓発	・リーフレットの配布及びホームページへの掲載	—

中予保健所	R7.11.1	生涯学習センター	担当者研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「高次脳機能障害について」中予保健所及び松山リハビリテーション病院から説明</li> <li>※愛媛県訪問看護協議会の研修の1コマに本研修を実施</li> </ul>	21名
	R8.2.12	中予地方局	担当者研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演「認知症と高次脳機能障害」</li> <li>・事例発表</li> <li>※愛媛県介護支援専門員協会との共催</li> </ul>	未定
	通年	松山圏域	普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の研修会や会議等を活用した普及啓発活動</li> <li>・関係機関におけるポスター貼付やパンフレット配布等による周知啓発活動</li> </ul>	
	通年	松山圏域	個別支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退院時連絡票を用いた、松山圏域の回復期リハビリテーション病棟を有する医療機関における活用推進</li> </ul>	
	随時	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種研修会、会議への参加</li> <li>・愛媛県高次脳機能障害者支援連絡協議会への参加</li> <li>・愛媛高次脳機能障がい者を支援する会「あい」総会、定例会へ参加</li> <li>・個別ケース支援</li> </ul>	
八幡浜保健所	R7.12.8	八幡浜保健所	高次脳機能障害支援普及事業連絡会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報交換</li> <li>・意見交換 等</li> </ul>	30名前後
	随時	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援</li> <li>・普及啓発</li> <li>・各種会議、研修会等への参加</li> </ul>	
宇和島保健所	R7.8.12	南予地方局	高次脳機能障害支援関係者連絡会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各機関の取組み報告（松山リハビリテーション病院、宇和島徳洲会病院、保健所）</li> <li>・意見交換</li> </ul>	32名
	冬頃開催(予定)	南予地方局	高次脳機能障害支援関係者研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演（詳細検討中）</li> </ul>	-
	随時	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別相談（来所、電話、訪問）</li> <li>・ケア会議</li> <li>・各種研修会、担当者会への参加</li> <li>・普及啓発（各市町広報誌に相談窓口を掲載、南予地方局庁舎内掲示、宇和島看護専門学校祭掲示、市立宇和島病院健康フェスティバル掲示等）</li> </ul>	-

## (3) 意見交換等

質問・意見・議題		
1	西村委員 (松山相談支援センター)	<p><b>○意思疎通支援事業について (ニーズの高さと必要性)</b> 行政窓口等での諸手続き(マイナカード取得等)・病院外来受診等の際等、本人のみが担わざるを得ない場合に必要性を感じていました。</p> <p>移動自体に関しては、地域生活支援事業の移動支援事業、障害者総合支援法の介護給付における居宅介護の通院等介助等で対応できます。ヘルパー事業所も、移動自体に関しては請負の躊躇はありません。ですが、例えば、外来受診時に肝要な症状や困りごとについてまとめた伝達や、そのことに対する医師の指示・服薬管理などについてのやり取りの聞き取り記録等は業務として請け負えないとの回答を受けています。</p> <p>短期記憶の障害が著しい方がほとんどで、非常に苦慮したことがこれまでの支援で複数ありました。正に、そのような当事者の皆様のお声からこの事業が設置されたと拝察しています。短期記憶の障害が顕著で、かつ、単身もしくは家族などの同席が難しい場合も多数です。</p> <p>事業実施の具体的方策と見直しについてご教示いただきたいです。</p> <p>具体的には、新規事業のご準備は手間と労力が膨大で委託先である言語聴覚士会様の困難さを強く拝察しています。</p> <p>打開策として、既存の制度に乗せたような形で、県独自のやり方を構築できないでしょうか。例えば、既存資源であるヘルパー事業者を活用し、特性理解や配慮事項等を集団教育の機会として設け、実サービスを移動支援の一類型のような実施するのはいかがでしょうか。</p>
2	山下委員 (宇和島徳洲会病院)	<p><b>○自動車運転についての相談先</b> 自動車運転について相談を受けた場合、公安委員会(運転免許センター)の適性検査以外に、退院後に相談を促す機関はありますか？</p>
3		<p><b>○退院前の関係機関との連携</b> 高次脳機能障害が後遺症として残存するものの、退院後に家族などの支援者がいない方もおられます。身体機能的には生活動作を自立できる能力がありますが、独居のため本当に生活できるか不安があります。40～50代と現役で働かれていた世代の方であれば、年金の受給はなく金銭的な不安も残ります。退院前にどのような機関と連携することが適切で望ましいでしょうか。</p>
4		<p><b>○対応が困難な医療機関の体制について</b> 私自身が事故に遭った当時、相談先は少なく、これ以上良くならなと放置された人が多かったように思います。現在も、専門外であるために対応が難しい病院や、体制が整っていない病院があるとすれば、十分な医療や支援を受けられていない方もいるのではないかと推察します。</p> <p>対応が困難な病院において、適切な機関へ繋ぐ体制やルートがあれば支援が行き届くと思います。委員の皆様方は、対応困難な病院から相談を受ける側と思いますので、受け入れる側として、取り組んでおられること等あればお聞きしたいです。</p>
5	石田委員 (あいの会)	<p><b>○当事者及びその家族の健康づくりの底上げについて</b> あいの定例会において、国民健康づくり運動「健康日本21」をベースに、今年度から「健康づくり」を課題に取り組みを進めています。</p> <p>当事者の健康はもちろんのこと、家族の健康も担保することで、当事者の健康づくりを促進し、最終的には社会参加にも繋げていくことができると考えています。「栄養」「運動」「休養」の三本柱に改めて注目し、当事者及びその家族の健康づくりによる底上げを図っていきたくと考えています。</p> <p>そこで、各委員の皆様が支援を行う中で、健康づくりに関して実施していることや今後こういうことができたら、といった取り組みがあれば教えていただきたいです。</p>

※内容は簡略化しています